

誰も言わない地方の「実力」と 喜多方地方広域圏の活路

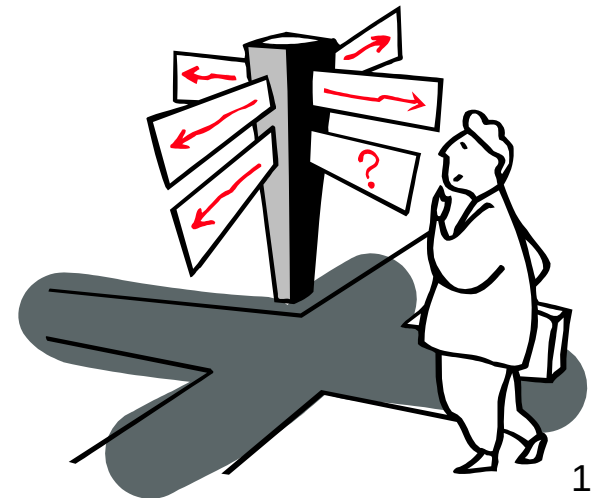
2024年11月22日

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

Fact Finder & Structure Perceiver
事実発見&構造把握業

もたに
藻谷浩介 kosuke@motani.com



**世界の中でみた
喜多方広域圏**

人口5万人の喜多方広域圏。 もし独立国だったら、大きさは？

✕ 小さすぎて国にはなれない

✕ 世界196ヶ国の中でブービー

③ もっと小さい国も10ヶ国以上ある

会津地方より小さい国なら、20ヶ国以上あります。

東北6県なら、世界では真ん中くらいの大きさです。

そもそも日本は、世界12位の人口大国なのです。

モスクワの人が喜多方周辺
(裏磐梯除く)で、自然の景色
を見た際に、「ここには、
モスクワにはない100が
ある。うらやましいな」
と思うのは、何？

喜多方周辺にあってモスクワ
にない自然の景色は： 山

大谷翔平の活躍する**ロスアンゼルス**

の人が**喜多方周辺**(裏磐梯除く)

で自然の景色を見た際に

「**LAにない100があるの**

は素敵だな」と思うのは

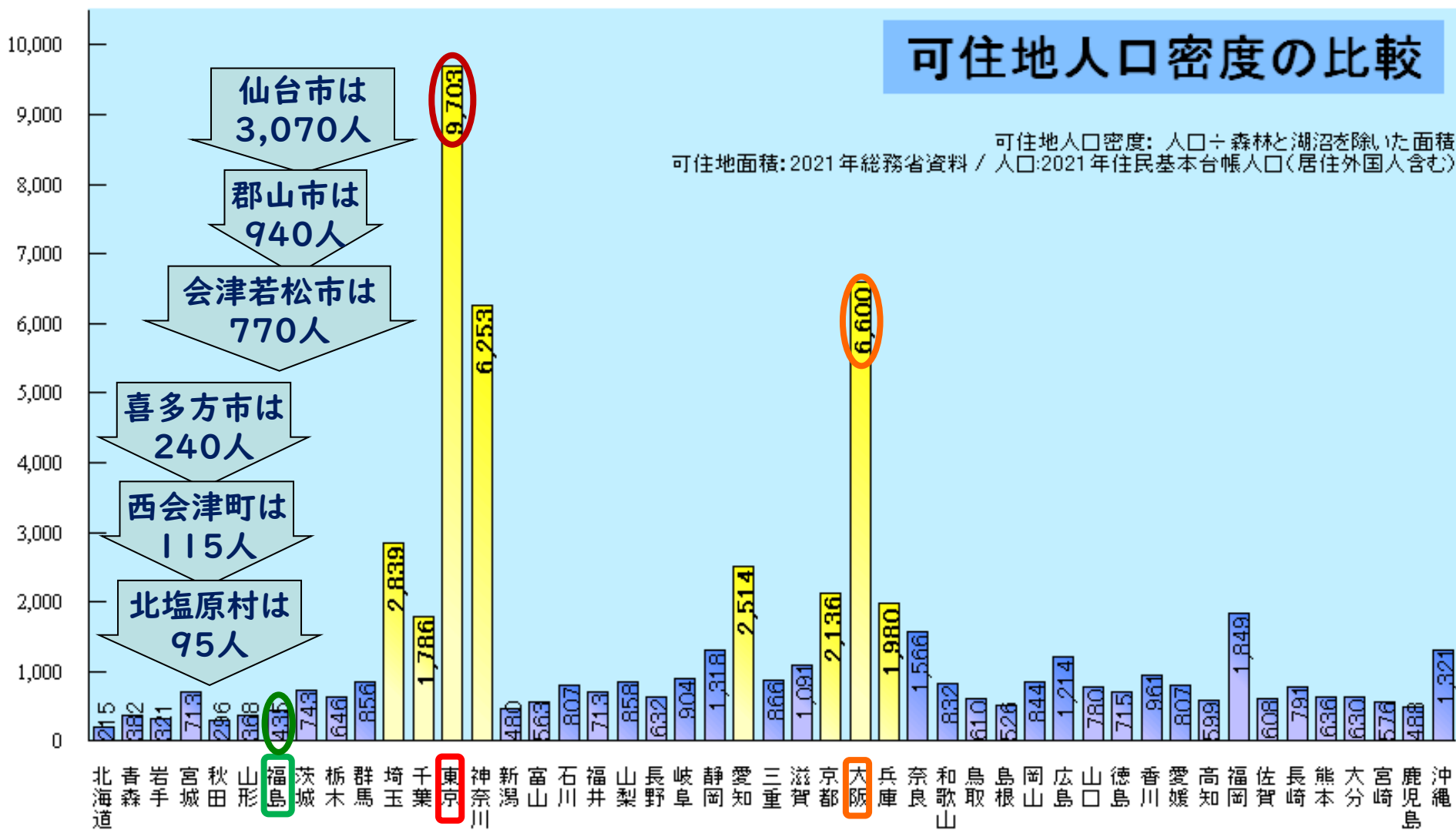
緑の山と、何と、何？

喜多方周辺にあつてモスクワ
にない自然の景色は：**山**

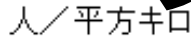
喜多方周辺にあつてL.A.にない
自然の景色は：**澄んだ川**
天然の滝

しかしどうやっても日本の人口は減る。 人がまばらな田舎は消滅する…？

人／平方キロ



人/平方呎



“過疎”は自然資本の豊かな“適疎” 人口が半減しても、地方は“適密”地帯

人／平方キロ

可住地人口密度の比較

可住地人口密度: 人口÷森林と湖沼を除いた面積
国内の可住地面積: 2021年総務省資料 / 人口: 2021年住民基本台帳人口(居住外国人含む)
海外の可住地面積: 2021年FAO資料 / 人口: 2021年国際連合人口部中位推計(居住外国人含む)

会津若松市は
770人

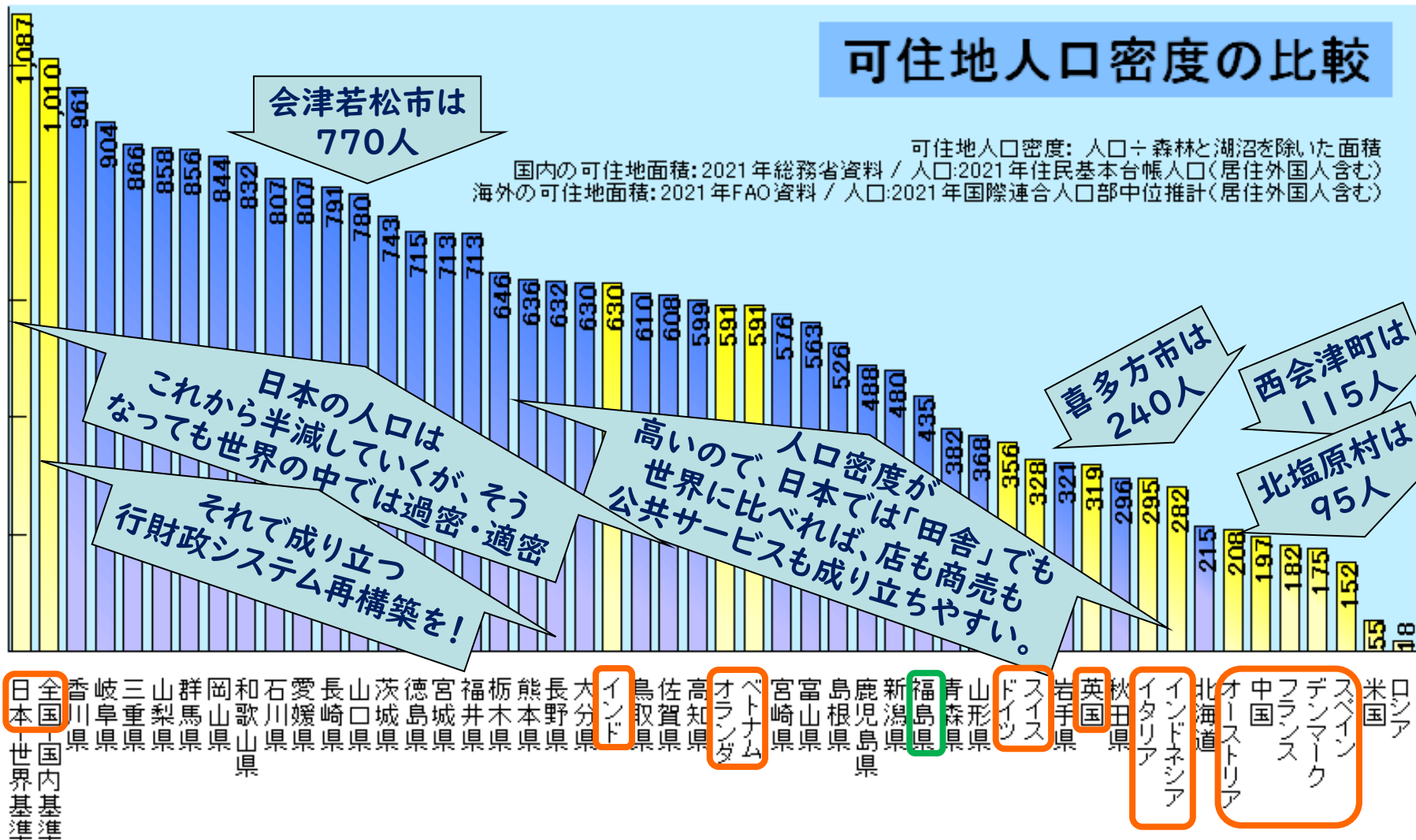
日本の人口は
これから半減していくが、そう
なっても世界の中では過密・適密
それで成り立つ
行財政システム再構築を!

高いので、人口密度が
世界に比べれば、店も商売も
公共サービスも成り立ちやすい。

喜多方市は
240人

西会津町は
115人

北塩原村は
95人



**“昭和の常識”に
さよならできて
いますか？**

日本の治安は悪くなっている？

戦後の日本の治安は悪くなっている？
この件数
がー

トランプや斎藤元彦氏
に投票する人の共通点は、
実感や数字から判断せずに、
流行りの噂を鵜呑みにすること。

主犯 犯罪白書

自分の人生の対人経験から考えれば、
彼らは偉くしてはいけないヤバい人
だと、判断できないはずなのに…

100件

学校の丸暗記教育では教えない、
自分の実感や、客観数字から、
事実を見つける訓練を、
今から積もう。

200件

1200件

850件

④ 今現在

国内生産額が大きい農産物は？

農林水産省「生産農業所得統計」2022暦年

① 米	全体の6分の1 以下しかない	1兆3950億円	100
② 麦	国内消費額はもはや米を上回る ← パンもパスタも輸入に依存	650億円	5
③ 野菜・芋・豆		2兆5210億円	181
④ 肉		2兆1120億円	151
⑤ 果実		9230億円	66

頭が“昭和”の人は「米」だと思い込む。
でも自分の食費で考えれば、米より肉や
野菜にお金がかかっていると気付くはず。

2012年から22年に、売上=産出額の伸び率 (年平均) “産業”は？

- ① 農 昭和どころか、もう平成も終わっている。0%/年
 - ② 世の中はすっかり変わった。/年
 - ③ でも頭の中は昭和のまんま。/年
 - ④ 大谷翔平が出ている時代にまだ自分は長嶋茂雄が一番... /年
 - ⑤ 昭和の価値観で判断していると0%/年
やっぱり間違ってしまう。%/年
令和の現実を学べ。
- 小 (日本在住)

**ネットでは語られない
国際競争の実際**

日本は国際競争に負けてジリ貧？

バブル期の90年と昨年(23年)を比べると日本の経常収支(兆円)は？

@財務省 国際収支状況

ヒント:

× 赤字転落

× 黒字半減

③ 黒字激増

① 経常収支は「(株)日本の経常利益」のようなものです

② 経常収支は、輸出一輸入に金利配当や観光、IT関連の収支、などを足した合計です

③ 輸出一輸入は、バブル期は10兆円以上の黒字でしたが昨年は6兆円の赤字です

日本は外国から稼いで大黒字

日本の国際収支

経常収支
(貿易+所得+サービス収支)

所得収支
(金利配当)

出典: 財務省「国際収支状況」

しかし利益は外貨投資へ

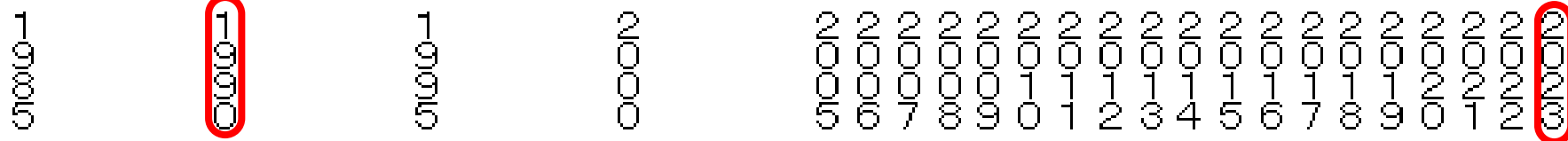
外国に投資した人と企業
は金利配当でウハウハ

貿易収支(輸出-輸入)

サービス収支
(観光やソフトウェア)

ちなみに、日本政府の税収も、実は
史上最高(株式売却益への課税で)

しかし、外国に投資して
いない庶民と企業は
輸入物価高でヒーヒー



ガラパゴス日本の国際競争

日本が経常収支赤字の相手は？

2023年(暦年) ©財務省国際収支状況

- ① 対 米国
- ② 対 中国+香港
- ③ 対 インド
- ④ 対 台湾
- ⑤ 対 ドイツ
- ⑥ 対 イタリア
- ⑦ 対 スイス

ちなみに、化石燃料産出国
に対しては大赤字

対中東 △10兆円

対豪州 △4兆円

対 インドネシア+マレーシア+
ベトナム+フィリピンで△3兆円

ガラパゴス化と国際競争

日本は、中韓台からも手は？

日本は、中韓台からも米英独からも儲け続けている。

そんな日本が貢ぐ相手の
スイスとイタリアの特長は???

① 観光立国、手作りブランド立国

② 高い人件費、短い労働時間

③ 大都市がなく、農山漁村に
経済力、競争力がある

④ 地域意識がとても強く
地産地消が当たり前

国際収支状況

3.7兆円

7兆円

5兆円

は、
材料
赤字

ポール

6千万人

総人口8百万人

40万円以上

お得意様
日本の黒
21兆円

お得意様
日本の黒
2.5兆円

お得意様
日本の黒
2.1兆円

お得意様
日本の黒
1.9兆円

お得意様第
日本の黒
1.3兆円

日本が
常に
赤字
日本が
常に
赤字

対
対

スイス

**今の日本の最大の
危機は少子化**

日本の高齢者(75歳以上とする)
は1975年には280万人。
では2024年元旦には？

× その3倍の800万人

× その5倍の1400万人

③ その7倍の2000万人

75歳以上が増えれば、年金・医療・介護の負担が増える

7倍増という驚異の増加に、日本の社会と
企業は対応し、平均寿命も延び続けている

日本在住の乳幼児(0～4歳)は
1975年には1004万人いた。
2024年元旦現在は何人？

× その3分の2の670万人

× その4分の2の500万人

③ その5分の2の410万人

日本の0～9歳は 2024年元旦現在 900万人。
それに対し20～29歳は1280万人、50～59歳は1810万人いる。

従って20代は、20年後には900万人になる (←1280万人から3割減)
50代は、30年後には1280万人にない (←1810万人から3割減)
50年後には900万人になる (←1810万人から半減)

でも都会は、田舎は、

15~44歳

勘違いしてませんか、
「都会の若者は増えている」と。

ところが数えてみると、東京でも、
仙台でも、若者は減っています。
どんどん流れ込んでいるのに、なぜ？

それは「地元生まれ」が減っているから。
都会は田舎に比べてとても出生率が低く、
新たに15歳を超える地元生まれの子が
45歳を超える人の半分もいません。

都会に若者が集まるほど、
子どもが消えます。

%

3%

△10%

%

住民票

20

④

⑤

⑥

ずっと不便な町

でも過疎地でも、
先「勘違いしてませんか、
田舎は高齢者が増加中」と。

ところが数えてみると、過疎地ではもう
75歳以上の人の数は減り始めています。
反対に都会では75歳以上がまだ急増中。

都会では、田舎から集まり続けた若者が
続々75歳を越え、医療や介護がピンチ。

田舎では年寄りの成り手が足りず、
医療介護の予算が減って行く
ので、子育て支援に注力する
チャンスです！

③

④

⑤

⑥

会

喜多

昭和村

歳

%

△1%

△27%

△15%

+15%

2050年の日本はどうなっている？

✕ 過疎地は消滅に向かい、
都会だけが栄えている

② 地方の若者が減り過ぎて都会への流入も減り
都会も消滅に向かう

③ 過疎地から先に高齢者が増えなくなり、
若者を受け入れる一部の過疎地は
子どもが再増加して、都会
より先に再生に向かう

**人口が減っても
多くの“過疎地”は
消滅しない**

求職中の人は多い（失業率が低い）

国勢調査

地方の人は言います。
「地元には仕事がない」と。

でも失業率は田舎も都会も2～3%。
過疎山村や離島では1%未満も。

失業率3%を「完全雇用」と呼び、
2%台以下は人手不足が深刻。

つまり、「仕事がない」とは
給料が安いということ？

%

⑤ ずっと不便な 1.8%

働いてい... 所得は
どれ

象所得額

地方の人は言います。
「地元は給料が安い」と。

確かに喜多方地方の所得の水準は、
東京の半分強、仙台の8割。
でも家賃や食費の違いはもっと大きい！

しかも所得は東京と2倍は変わらないので、
喜多方の共働き家庭は、東京の専業主婦
家庭よりは、実はお金持ちですね…

⑤ 住居費や食費が安い地元で 54
⑥ 暮らしするのは断然お得！ 52

住民1人当たりの生活保護費

2014年

<http://area-info.jpn.org/SehoPerPop.html>

① 東京23区平均	56,200円
④ 仙台市	28,000円
⑤ 会津若松市	20,600円
⑥ 福島市&郡山市 (偶然に同額)	15,800円
⑦ 喜多方市	15,000円
⑧ 奥能登の石川県輪島市	13,800円
⑨ 同上の珠洲市	9,100円
⑩ 福島県町村平均	8,600円

今の日本では、
都会の方が生活に
困っている人が多い

農業や助け合い
があって生活に
困りにくい

世界中で進む少子化と高齢化

国連人口部2024年推計予測 中位推計 **移民含む**

2024→34年

0～4歳

乳幼児
増減率

15～
44歳

若者
増減率

75歳以上

後期高齢
者増減率

① 日本	<u>△5%</u>	<u>△8%</u>	<u>+7%</u>
② 中国	△20%	△8%	+72%
③ ASEAN	△4%	+2%	+62%
④ インド	△4%	+3%	+68%
⑤ ロシア	△12%	△9%	+49%
⑥ 欧州 (除くロシア)	△9%	△5%	+25%
⑦ 南北米州	△4%	+1%	+51%

2050年の世界はどうなっている？

✕ 日本や中国はかなり衰え、
インドや米国が栄えている

② 世界中で少子化が始まり、高齢者は激増し、
各国が日本を追って衰える

③ (団塊ジュニアの多い大都市を除いて)
日本から先に高齢者が増えなくなり、
子どもが再増加して、日本
が一足先に再生に向かう

講師（藻谷）が推測する、日本と喜多方広域圏の2050年は？

- ① 乳幼児が再び増え始める
→ 人口も2100年には下げ止まる
(全国は6千万人、喜多方広域圏は2万人?)
- ② 農業、林業、食品加工や工芸、
それにハイテク製造業も栄えている
- ③ 訪日客が田舎の隅々を訪れている
- ④ 東京からの地方移住が普通になる

“バックキャストイング”で考える

- ① 自分が「こうしたい」と強く考える
「未来の出来事」、「こうあって欲しい」と願う未来の社会を、心に描く
- ② 手持ちの手段や、現実的なステップから、順を踏んで考えることはしない
- ③ そこで思い描いた未来から逆に振り返って、そこに行くため何をするか、何をしないか、を決めていく
- ④ 新たな事態が起きた場合も、未来から振り返って、今の対応を決める

“バックホー”の実例

①

人口が減っても、一人当たりの
経済力、そして幸せは増やせる。

②

高齢者が世界に先駆けて減り始める
日本で、数十年後には、再び子どもが
当たり前に増え始めるようにできる。

自分が「やらない」というだけのことを
「できない」と言い訳してはいけない。

④

自分と若者にやらせてみる
ことから始めよう。

番外(藻谷)

③ 間違った選択をする組織や社会を減らす